

折り紙から椿の花を作る

椿の花は五弁。椿の特徴を出すために、しっかりとした萼(がり)を作り、その中に花弁をいれることで、開き加減を調節することにしました。



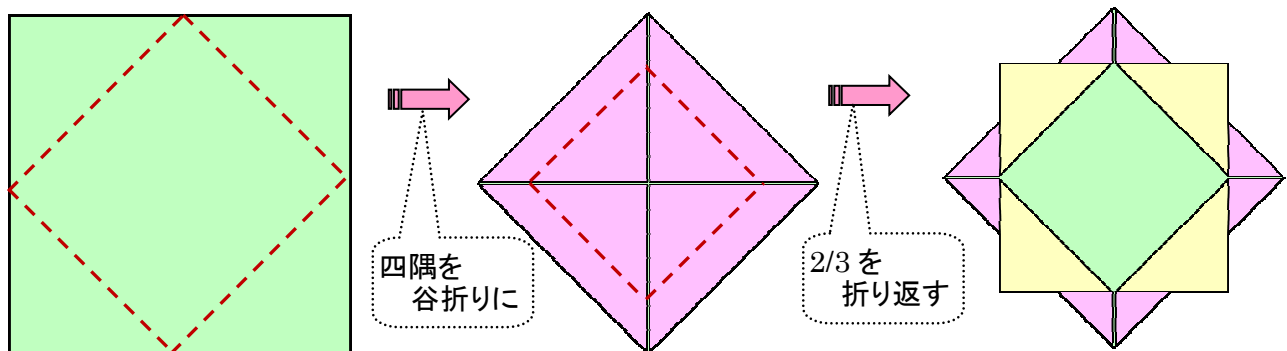
ここでは、五弁の花の折り方をマスターしたことから始める。

今回の材料は次の通り。

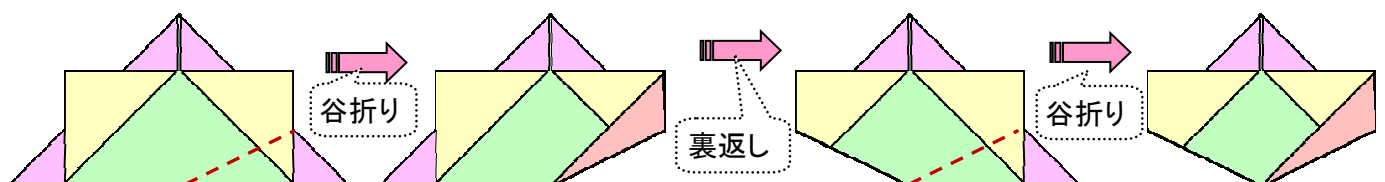
- ・折り紙(両面色付き 75mm角)・・・花弁用
- ・折り紙(両面色付き 75mm角)・・・萼用
- ・折り紙(片面色付き 50mm 角)・・・雄しべ用
- ・工作用ボンド ・透明色の画鋲(写真)・・・雌しべ用
- ・園芸用ワイヤー(ソフトタイプ2.5mmφ 写真)・・・花茎や枝用



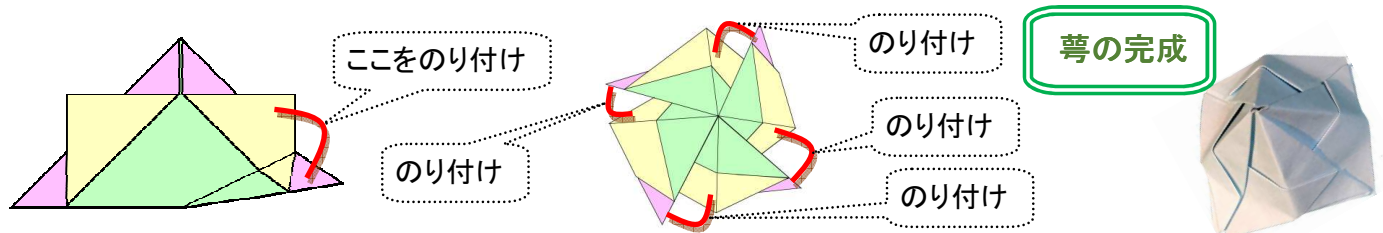
① がく(萼)は、図の通り、半分の大きさになるように隅を折り、次いで、その 2/3 を折り返す。



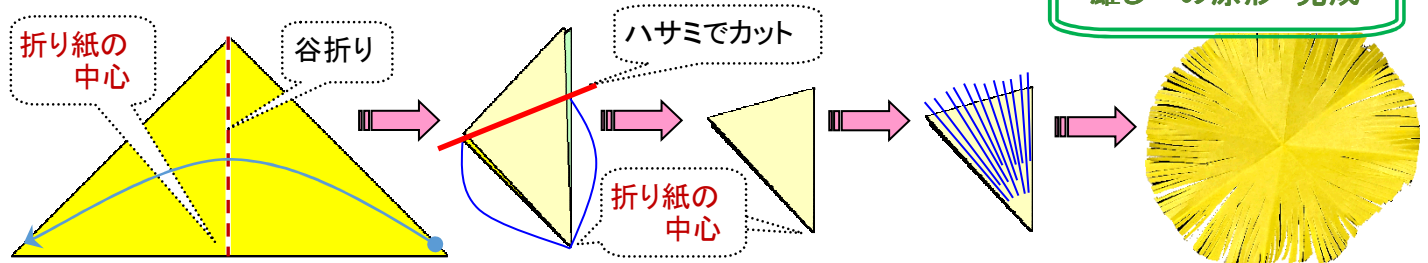
② これを図のように半分に折り、右隅を約 45° の場所まで谷折りで折り目をつける。
折り目だけなので、これを伸ばして、残りの 2 か所の隅も同様に折り目をつける。



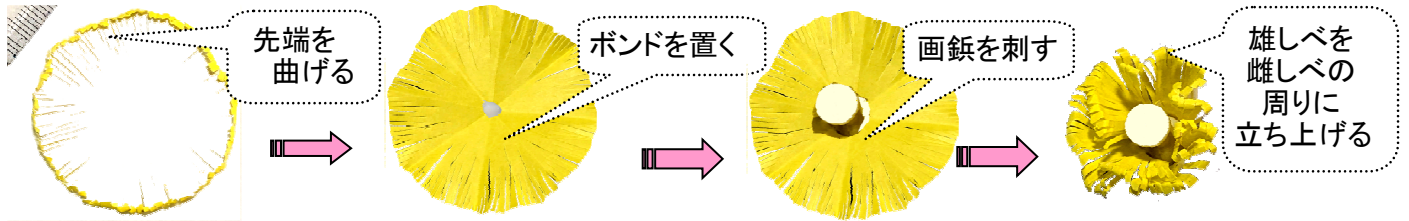
③ 今度は、②で折った図で示す場所をのり付けする。(4 か所とも)。これで立体的な萼ができる。



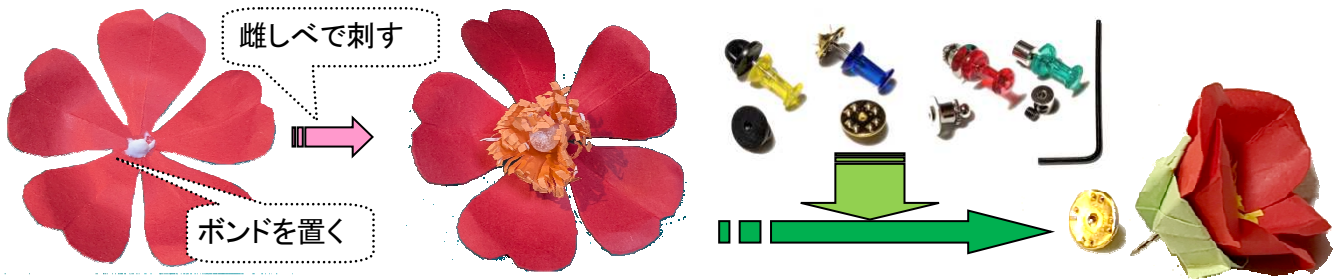
④ 雄しべは、片面が黄色の折り紙が良い。(別の色彩でも面白いかも) これを中心角が 45° の八角形を目標に折るが、きれいに重なるように折るために、一度に折らない方がよい。
次いで折り紙の中心を頂点の二等辺三角形になるよう切り、さらに『雄しべ』らしくするため、図のように細かくハサミを入れる。



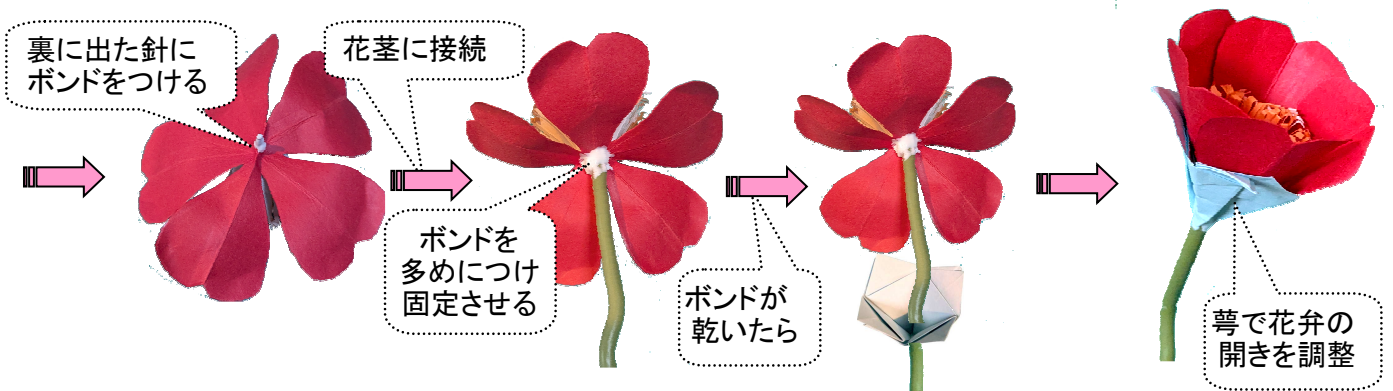
- <花弁>は、椿の花らしい両面色付きの折り紙を使う。特に赤色にこだわる必要はなく、自然界にはない色調の花を作るのも面白い。花弁は、この時点で形を⑩左図のように整えておく。
- ⑤ 椿の<雌しべ>は、ほとんど目立たない。よって無色の画鋲に薄い紙を貼っておく。
- ⑥ <花弁>と<雄しべ>の中央には、あらかじめピンで小さな穴をあけておく
- ⑦ 雄しべは、椿らしくするために、図のように先を小さく折り曲げる。(定規などを使うと有効)
- ⑧ 黄色の面の中央にボンドを少量おき、(雌しべとして)を上から刺す。裏に出たピンの針の部分をしかり持ち、椿らしくするために雄しべ全体を図のように雌しべの周りに立ち上げておく。



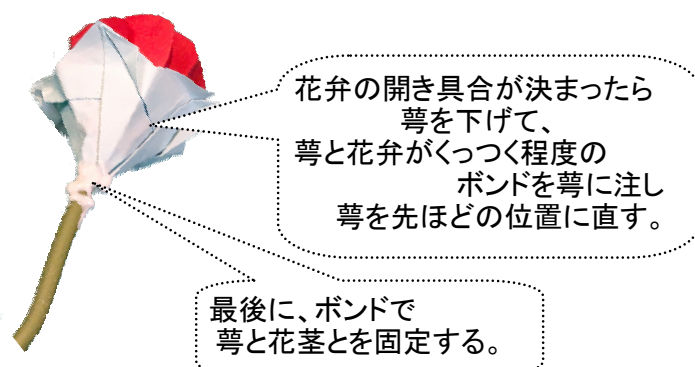
- ⑨ 次いで、花弁の内側の中央にボンドを少量置き、雄しべの着いた画鋲(雌しべ)を通す。



- ◎ ブローチを作るときは、萼の下方をつぶし、一旦雄しべの針を出し、うまくいったら、ボンドで固定
- ⑩ 花茎を付けるときは、画鋲の針にボンドを付け、茎となる園芸用ワイヤーの針金に画鋲の針が出ないように刺す。画鋲が抜けないように花茎と花弁が固定されるように多めのボンドをつけておく。
- ⑪ 最後に、萼(がく)を花茎の下から差し込み、萼によって花弁の広がり方を調節する。



- ⑫ 花の開きがきまったら、萼を一旦花茎の下に下げ、萼の内側にボンドをつけ、萼と花弁、萼と花茎を固定する。



椿の花 完成